

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp



三宮～元町

アメリカはベネズエラへの攻撃やめろ！
大統領夫妻を開放しろ！

アメリカ総領事館前 神戸東遊園地 集会参加
三宮から元町 コール&パレード

1月3日、アメリカ・トランプ政権が、南米ベネズエラの行政区域や通信施設、空軍基地、港湾施設などに対し、ステルス機による爆撃を行い、市民100人を殺害、同時にマドゥロ大統領夫妻を逮捕・拘束したことが報道されました。

いかなる理由があろうとも、主権国家に対して、このような行為は許されるものではありません。

武力行使と威嚇の禁止を定めた国連憲章、主権尊重と内政不干渉という国際法の基本原則を踏みこむものとして、世界中で、様々な団体や個人が「国連憲章や国際法違反やめろ！」「大統領夫妻を解放しろ！」の声をあげ、行動し続けています。

私(黒田)も、大阪神戸総領事館前集会、神戸東遊園地集会、三宮から元町までのコール&パレード、市内でも「九条改憲 NO! 全国市民アクション川西実行委員会」による抗議宣伝に参加、地域での訴えを続けています。

アメリカ・トランプ政権は、言う通りにならなければベネズエラへの再度の攻撃、メキシコやコロンビア、キューバを名指し、デンマーク自治領グリーンランドやパナマ運河の管理を主張するなど、無法な侵攻に言及し続けています。

アメリカの同盟国からも批判の声が上がっているにも関わらず、日本・高市政権は、トランプ大統領の言及に懸念すら示していません。

それどころか、防衛費が増額される中、会計検査院は、アメリカからの武器調達未精算額が789億円にも及ぶことを報告。それだけでなく武器そのものも届いていないケースにも言及しています。

また、日本の年金基金運用でイスラエル国債購入(2270億円)や軍事関連企業の株を保有していることなども明らかになっています。

私たちの大切な税金や年金基金がアメリカ言いなりで「戦争」に加担していることも許せません。

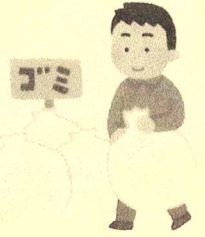
59人参加 「ごみをめぐる意見交流会」

「持ち去り防止・条例化」 ごみ減量・再資源化

意見交流会では、モニターさんが取り組んでいる、3R(リデュース・発生抑制、リユース・再利用、リサイクル再生利用)の具体例、生ごみの水切り・コンポスト利用や食品ロスを減らす日常生活の中の工夫(古着や布を雑巾替わりに使う、包装をやめる、リサイクル品の利用)を聴かせて頂き、自分たちにもできることの気づきをもらいました。

まず、川西市、猪名川町、豊能町、能勢町で排出されたごみは、猪名川上流広域ごみ処理施設・国崎クリーンセンターに運ばれ処理されている実態が報告されました。

国崎クリーンセンターへ



市主催の「ごみをめぐる意見交流会」が市内4開場で行われ、私(黒田)は、キセラ川西プラザに参加しました。(表参照)
家庭ごみ・指定袋の有料化の案件ではなかったからか、参加者は4会場で59人でした。

また、グループごとに住んでいる地域でのごみ出しの情報交換や困っていること、工夫していることや市への要望などが出されました。

市としては、順調にごみ量が減つ

ごみをめぐる意見交換会

開催日	開催場所	参加者数
12月13日(土)	多田東会館	11人
12月14日(日)	東谷公民館	15人
12月16日(火)	キセラ川西	16人
12月20日(土)	加茂ふれあい会館	17人
合計		59人

今後、ごみ量を見守りながら有料化を考えていく方向ですが、市では、「資源物の持ち去り防止に係る条例」を制定され、4月から実施されることに伴い、ごみ量が増える可能性ががあります。そのことを要因として有料化が実施されないよう注視する必要があります。

資源物持ち去り条例後のごみの推移

現在見合わせていると報告がありました。

減量、さらに分別を進めていくこと

自治会加入やごみ当番の課題(移住者・高齢者・勤労者)、輸出品が増えている・表示がないなど分別の課題や徹底の難しさなどをどう解決していくのか、戸別収集や市として分別・再資源化(廃油、集団回収)をもっと進めるべきという要望も出されました。市としても、火災事故の要因になっているリチウムイオン電池の分別回収が新年度からはじまる予定です。さらに、ごみの再資源化、減量が進んでいくよう取り組みます。

「侵略やめろ！」「台湾有事発言撤回！戦争あおるな！」「アメリカにダメなものはダメと意見を！」「憲法九条堅持！」アメリカの言動に対する声だけでなく、日本を戦争する国にしないほしいとの声。スペイン語で「No ala Guerra!」(戦争反対)の声、声、声。



神戸東遊園地



総領事館前